

食品安全委員会の運営について（令和4年7月～9月）

1. 食品安全委員会の開催

7月：865回・866回・867回・868回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（9品目）

農薬（6品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・アミスルブロム ・ジエトフェンカルブ ・シメコナゾール ・バリダマイシン ・プロチオホス ・メタアルデヒド
動物用医薬品（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・シフェノトリン ・<i>d</i>・<i>d</i>-T-シフェノトリンを有効成分とする豚舎噴霧剤（カーボジェット、ファームクリン）
飼料添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ギ酸

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（6品目）

農薬（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ピリプロキシフェン <u>ADIを0.1 mg/kg体重/日、ARfDを3 mg/kg体重と設定。</u> ・フルピラジフロン <u>ADIを0.031 mg/kg体重/日、ARfDを0.35 mg/kg体重と設定。</u> ・メトキシフェノジド <u>ADIを0.098 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・フルトラニル <u>ADIを0.087 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u>
動物用医薬品（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・ジクロキサシリン <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3（3）①に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u> ・モサプリド <u>モサプリドクエン酸塩のADIを0.03 mg/kg体重/日と設定。</u>

(3) その他

- ・令和4年度食品健康影響評価技術研究二次公募課題（案）を決定
- ・令和4年度食品安全確保総合調査課題（案）を決定
- ・「食品安全委員会の運営について（令和4年4月～6月）」を報告

8月：第869回・870回・871回（3回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（17品目、2案件）

食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・次硝酸ビスマス ・シナムアルデヒド（ケイ皮アルデヒド）
添加物（5品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・亜硫酸ナトリウム ・次亜硫酸ナトリウム ・二酸化硫黄 ・ピロ亜硫酸カリウム ・ピロ亜硫酸ナトリウム
農薬（6品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・アメトクトラジン ・イミシアホス ・ジフェノコナゾール ・ジメトモルフ ・ビフェントリン ・メフェントリフルコナゾール
動物用医薬品（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン（ユニストレインPRRS-10、同50、同50ID） ・鶏大腸菌症生ワクチン（ガルエヌテクトCBL） ・鶏伝染性気管支炎生ワクチン（ガルエヌテクトS95-IB） ・次硝酸ビスマスを有効成分とする牛の乳房注入剤（オルベシール）
その他（2案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法第13条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準のニタルソン及びロキサルソン試験法の追加、ニフルスチレン酸ナトリウム試験法の追加 ・食品衛生法第13条第1項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準の酢酸トレンボロン試験法の削除及び追加

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（12品目、2案件）

添加物（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・硫酸銅 <u>添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念はないと判断。</u>
農薬（4品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・メトブロムロン <u>ADIを0.0046 mg/kg体重/日、ARfDを0.015 mg/kg体重と設定。</u> ・ジエトフェンカルブ <u>ADIを0.42 mg/kg体重/日、ARfDを2 mg/kg体重と設定。</u>

	<ul style="list-style-type: none"> ・バリダマイシン <u>ADIを0.36 mg/kg体重/日（バリダマイシンA換算）、ARfDを3.2 mg/kg体重（バリダマイシンA換算）と設定。</u> ・ピリダクロメチル <u>ADIを0.08 mg/kg体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断。</u>
農薬及び動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・イソプロチオラン <u>ADIを0.1 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを0.5 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.12 mg/kg体重と設定。</u>
動物用医薬品（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン（ユニストレインPRRS-10、同50、同50ID） <u>これらの製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できると考えられることから、食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められる。</u> ・鶏大腸菌症生ワクチン（ガルエヌテクトCBL） ・鶏伝染性気管支炎生ワクチン（ガルエヌテクトS95-IB） <u>委員会決定「動物用生物学的製剤の再審査に係る評価要請の取扱いについて」の1「安全性を懸念させる研究報告及び副作用のいずれも認められないとき」に該当するものとして、食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められる。</u>
遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・<i>Bacillus subtilis</i> NTI05（pHYT2Aopt）株を利用して生産されたシクロデキストリングルカノトランスフェラーゼ <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断。</u>
飼料添加物（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・25-ヒドロキシコレカルシフェロールを有効成分とする飼料添加物 <u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品に残留することにより人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u> ・カルシフェロール及び25-ヒドロキシコレカルシフェロール <u>動物用医薬品及び飼料添加物として通常使用される限りにおいて、食品に残留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものと考えられる。</u>

<p>その他（2 案件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品衛生法第 13 条第 1 項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準のニタルソン及びロキサルソン試験法の追加、ニフルスチレン酸ナトリウム試験法の追加 ・ 食品衛生法第 13 条第 1 項の規定に基づき定められた、食品、添加物等の規格基準の酢酸トレンボロン試験法の削除及び追加 <p><u>食品安全基本法第 11 条第 1 項第 1 号に規定する食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときに該当。</u></p>
------------------	---

（3）その他

- ・ 食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題（令和 5 年度）（案）を決定。
- ・ 令和 4 年度食品安全確保総合調査課題（案）を決定。

9 月：第 872 回・873 回（2 回）

（1）食品健康影響評価の要請案件

<p>該当なし</p>	
-------------	--

（2）食品健康影響評価の結果通知案件等（7 品目）

<p>添加物（1 品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィチン酸カルシウム <p><u>添加物として適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、ADIを特定する必要はないと判断。</u></p>
<p>動物用医薬品（6 品目）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ クエン酸モサプリドを有効成分とする牛の強制経口投与剤（牛用プロナミド散 2%） ・ 牛ウイルス性下痢ウイルス（<i>Npro</i> 及び <i>Erns</i> 遺伝子欠損 1 型・2 型）生ワクチン（ボベラ） <p><u>適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジミナゼン <p><u>ADIを0.02 mg/kg体重/日（ジミナゼンジアセチュレートとして）とする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イソシンコメロン酸二プロピル ・ マホプラジン ・ ピリメタミン <p><u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の 3（3）①に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u></p>

2. 専門調査会等の運営（全24回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
添加物	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリビニルアルコール ・亜硫酸ナトリウム、次亜硫酸ナトリウム、二酸化硫黄、ピロ亜硫酸カリウム、ピロ亜硫酸ナトリウム
農薬第一	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・「農薬専門調査会における評価書評価に関する考え方」の改正
農薬第二	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨウ化メチル
農薬第三	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・エマメクチン安息香酸塩
農薬第四	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・アミスルプロム ・メタルアルデヒド ・ジメトモルフ
農薬第五	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・シメコナゾール ・プロチオホス
動物用医薬品	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒドロコルチゾン ・シフェノトリン
汚染物質等	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・カドミウム
かび毒・自然毒等	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出、座長代理の指名 ・平成30年度食品健康影響評価技術研究の報告について ・かび毒・自然毒等をめぐる最近の動向
遺伝子組換え食品等	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品・飼料） ・長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品・飼料） ・JPBL013株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品・飼料）
肥料・飼料等	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・セフロキシム ・アンプロリウム ・塩酸L-ヒスチジン ・ギ酸 ・オルメトプリム ・次硝酸ビスマス
薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノグリコシド系抗生物質
評価技術企画ワーキンググループ	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学研究で得られた用量反応データへのベンチマークドーズ法の適用について ・令和2年度～令和3年度食品健康影響評価技術研究成果の報告等 ・ベンチマークドーズ法へのベイズ統計学に基づく手法の導入について

3. 意見交換会の開催等

(1) 講師派遣（全2回、うち委員1回）

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
7/21	東京都 (動画配信)	家庭における低温調理について ※香西委員	品川区保健所	一般消費者
7/27	神奈川県 (動画配信)	リスクコミュニケーションについて	かながわ中央消費生活センター	消費生活センター相談員

(2) 学会講演（全3回）

開催日	学会名	内容
9/9	レギュラトリーサイエンス学会	レギュラトリーサイエンスを担う人材育成の現状と今後 ※川西委員
9/17	日本薬学会 関東支部大会	我が国の食の安全性確保における食品安全委員会の役割 ※浅野委員
9/30	日本食品微生物学会	食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針 ※山本委員長

(3) 講座（全2回）

開催日	内容	対象者
8/25	食品添加物に関する安全性と新評価指針のポイント 講師：川西委員、ファシリテーター：松永委員	食品安全モニター
9/18	食品添加物に関する安全性と新評価指針のポイント「食品添加物のリスク評価のアップデート-評価指針の改正と評価事例(ワイン添加物)について-」 講師：川西委員、ファシリテーター：松永委員	食品関係事業者、研究者、地方公共団体(保健所等)関係者、一般消費者

(4) 意見交換会等 (全2回)

開催日	内容	対象
7/13	食品に関するリスクコミュニケーション 「一緒に未来を考える～食品中の放射性物質～」 (関係府省庁共催)	学生
7/21	食品添加物に関する安全性と新評価指針のポイント 「食品添加物のリスク評価をアップデート-評価指針を改定、ワイン添加物も続々評価-」 講師：川西委員、ファシリテーター：松永委員	報道関係者

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 7月：19記事

閲覧数 (Facebook) 210,759人/月、(ブログ) 3,021人/月

投稿日	記事内容
1	広報誌「食品安全」第59号を公開しました 食品のリスク評価を行う案件を募集します
4	【食品安全委員会 6/27～7/1の公表事項】 【訪問学習】防衛医科大学校の学生の訪問学習を実施しました
5	鶏肉は十分加熱して食べましょう！
6	7/5に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します ジビエは必ず中心部までしっかり火を通して食べましょう！
8	【食品安全委員会 7/4～7/8の公表事項】
12	7/12に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します
14	過去の食品安全に関する講座の講義動画をリバイバル公開します
15	【食品安全委員会 7/11～7/15の公表事項】

20	7/19に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します
22	【キッズボックス】卵を安全に食べるために（2022年7月号）
	【食品安全委員会 7/19～7/22の公表事項】
25	【「こども霞が関見学デー」のお知らせ】
27	7/26に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します
	令和4年度研究事業の課題二次公募（募集締切：令和4年8月24日（水）17時）
28	精講「食品添加物のリスク評価をアップデート」開催のお知らせ
29	【編集後記：文月】夏休みの自由研究に困ったら??

■ 8月：21記事

閲覧数（Facebook）63,741人/月、（ブログ）2,794人/月

投稿日	記事内容
1	【食品安全委員会 7/25～7/29の公表事項】
2	モロヘイヤの種には毒性がある！
	令和4年度調査事業「アレルギーを含む食品のファクトシート（乳、麦類）の策定に向けた科学的知見の調査」の公告について（期間：8月26日（金）12:00まで）」
3	今日と明日はこども霞が関見学デー！
	8/2に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します
4	こども霞が関見学デー特設ページは今月いっぱい見られます！
5	災害時も食中毒への備えを忘れずに！
	【食品安全委員会 8/1～8/5の公表事項】
8	キュウリ、ズッキーニが苦かったら????
10	8/9に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します
	過去の食品安全に関する講座の講義動画をリバイバル公開しています
15	黄色ブドウ球菌による食中毒に注意！

16	令和4年度調査事業の公募（2課題）について（期間：9月12日（月）12:00まで）
19	【食品安全委員会 8/8～8/19の公表事項】
24	令和4年度調査事業「動物用医薬品製剤の添加剤の評価結果に関する情報収集及び調査」の公告について（期間：9月14日（水）12:00まで）
25	特設ページ「ようこそ！食品安全委員会へ」を9/4（日）まで公開延長します！
26	【キッズボックス】冷蔵庫の上手な使い方（2022年8月号）
	【食品安全委員会 8/22～8/26の公表事項】
30	「お母さんになるあなたと周りの人たちへ-妊娠の前から気をつけたい食べ物のこと-」を公開しました
31	【編集後記：葉月】夏休みの宿題は終わりましたか？
	8/30に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します

■ 9月：17記事

閲覧数（Facebook）55,841人/月、（ブログ）2,080人/月

投稿日	記事内容
2	特設ページ「ようこそ！食品安全委員会へ」閲覧御礼&9/4（日）まで！
	【食品安全委員会 8/29～9/2の公表事項】
5	令和4年度調査事業の公募（2課題）について（期間：10月4日（火）12:00まで）
7	9/6に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します
	【大学、試験研究機関等に属する研究者の方向けのお知らせ】令和5年度研究事業の課題公募（募集締切：令和4年10月12日（水）17時）
9	【食品安全委員会 9/5～9/9の公表事項】
13	令和4年度調査事業「食品安全委員会が地方自治体等と連携して行う食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションの強化に関する調査」の公告について（期間：10月5日（水）17:00まで）
14	毒のあるキノコに注意！

15	過去の食品安全に関する講座の講義動画のリバイバル公開最終回です
16	【食品安全委員会 9/12～9/16の公表事項】 牛肉も必ず中まで火を通して食べましょう
21	9/20に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します
26	"Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission" Volume 10, Number 3 has just been published. 食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission」 Vol. 10, No. 3を公開しました
29	【キッズボックス】食品添加物ってなんだろう？（2022年9月号）
30	【編集後記：長月】食欲の秋こそ…食中毒にご注意を！ 【食品安全委員会 9/20～9/30公表事項】

(2) Twitter

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

- 7月：15記事（他省庁記事の引用リツイート1件）
閲覧数377,256件/月、フォロワー1,343人

投稿日	記事内容
1	食品安全委員会広報誌「#食品安全」第59号を公開しました！巻頭特集は、食品添加物や農薬などの評価を行う際に従うべき指針の改正。この他、鉛やぶどう酒の製造に用いる食品添加物の評価など、2021年度の食品安全委員会の取組を紹介しています。→ http://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k_index.html 食品安全委員会では通常は他省庁からの要請に応じて食品に含まれる危害要因の健康への影響評価を行っていますが、国民からのニーズに応じた評価も行っています。7月31日締め切りで、評価案件を募集中です！ http://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_kikaku_selftasking_040701.html
5	加熱不足の鶏肉は危険です！ #カンピロバクター による #食中毒 は激しい下痢の他、ギラン・バレー症候群による後遺症の危険も。見た目生っぽいのはもちろんダメ。肉の色が変わっていても加熱不足の場合があります。中心温度75℃以上1分以上と同等の条件で加熱しましょう！ https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12751846887.html https://www.fsc.go.jp/foodsafetyinfo_map/shokuhniku_teionchouri.html https://www.youtube.com/watch?v=C8KgqeelrxY https://www.youtube.com/watch?v=ECe1JwFU2Vg

	※ 4 件の記事をツイート
6	野生のシカやイノシシなど #ジビエ の生食は、#E型肝炎 や腸管出血性大腸菌 #0157 感染症、また寄生虫による感染症などを起こし、死亡する可能性もあります。食べる際は必ず中心部までしっかり火を通して食べましょう！ https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12752030263.html
14	食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開することにしました。第1回は2013年7月の講義。村田容常委員（当時）が、人はなぜ食べるのといった食べ物の基本から食品安全の基本まで、食品安全を考えるときに最初に知っておきたいことを語ります。→ https://www.youtube.com/watch?v=jySfYJGXu6w
21	食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開しています。第2回は2014年1月の講義。石井克枝委員（当時）が、洗う、切る、保存などの調理工程のおいしさと食品安全の関係を科学的な視点で解説します。 https://www.youtube.com/watch?v=H43GZKXuERY
22	暑いときにはさっぱりとした #TKG （ #卵かけごはん ） が食べたくなりますよね♪でも、卵を生で食べる際には、#食中毒 を防ぐため、買ってから食べるまで色々な注意が必要です。安全に美味しく食べて、元気に夏を乗り切りましょう！詳しくは→ http://fsc.go.jp/kids-box/
25	【8月3・4日 #こども霞が関見学デー 開催】 各府省庁が用意する楽しく学べるプログラムから、食べ物の安全について学ぶ場を紹介！ 消費者庁 https://www.caa.go.jp/notice/event/children_2022/ 厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/kodomo/kodomo_kasumi_2022.html 農林水産省 https://www.maff.go.jp/j/kids/kodomo_kasumi/2022/content/shokuan.html 内閣府食品安全委員会 http://www.fsc.go.jp/
27	#食中毒予防 の3原則を心がけましょう！
28	食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開しています。第3回は2014年7月の講義。熊谷進委員長（当時）が食中毒微生物の性質、殺菌方法とリスク評価の関係など、#食中毒 について解説します。 https://www.youtube.com/watch?v=-nDcImV4EpY
	「 #食品添加物 の健康影響評指針はどう改定されたの？」「ワインの製造に使われる添加物の評価は？」などの疑問について専門家に向けて化学物質担当の川西徹委員が詳しく解説するセミナーを9/16(金)15:00～開催します。現在参加者募集中！締め切りは8/17(水)14:00。 詳細は→ http://www.fsc.go.jp/koukan/osirase/annai040916.html

- 29 #夏休みの #自由研究 テーマに「食べものの安全」はいかが？ #こども霞が関見学デー 特設ページ「ようこそ！食品安全委員会へ」を公開中。委員長のご挨拶動画から最後の #クイズ コーナーまで、へえ～となっちゃうコンテンツいっぱいです。チェックしてみてください！

http://www.fsc.go.jp/kids-box/kodomo_kasumigaseki_day_2022.html

■ 8月：15記事（他省庁記事の引用リツイート1件）

閲覧数118,845件/月、フォロワー1,413人

投稿日	記事内容
2	<p>夏の栄養源といえば、#ネバネバ 野菜の #モロヘイヤ ♪ただ、種子やサヤにはめまい・嘔吐などの中毒を引き起こす成分も。栽培していたら種子やサヤの混入に注意が必要です！子供の誤飲にも気をつけましょう！なお、収穫期の葉や茎は安全に食べられますのでご安心を。</p> <p>https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12756578041.html</p>
3	<p>#こども霞が関見学デー は今日と明日の2日間が本番です！ページの最初は、特設ページを訪れてくれた皆さんに向けて、山本委員長が動画でごあいさつ♪ぜひチェックしてみてください！https://www.youtube.com/watch?v=cDSSBvSPB4I</p> <p>#こども霞が関見学デー #食品安全委員会 特設ページでは、委員長のごあいさつ動画のほかにも、食べものの安全についておすすめの動画を集めています。#夏休みの宿題 のヒントになるかも？PC、スマホやタブレットからいつでも見られます。ぜひチェックしてみてください！</p> <p>http://www.fsc.go.jp/kids-box/kodomo_kasumigaseki_day_2022.html</p>
4	<p>#こども霞が関見学デー 2日目です！「キッズボックス」では、小学生のみなさんに毎月1回、食べものの安全に関する様々なテーマをわかりやすく紹介。もちろん特設ページでも見られます。#夏休みの #自由研究 テーマにいかも？ぜひチェックしてみてください！</p> <p>http://www.fsc.go.jp/kids-box/kodomo_kasumigaseki_day_2022.html</p> <p>食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開しています。第4回は2014年7月の講義。村田容常委員（当時）が、食品を化学の視点からとらえ、天然物と人工合成物の違いやトランス脂肪酸などについて解説します。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=AcAK4U4hj1w</p> <p>#こども霞が関見学デー 食品安全委員会特設ページのクイズコーナーでは、アンケートとともにお答えいただいた皆様に「キッズボックス総集編」の冊子をプレゼントします。特設ページとクイズの答え、アンケートの受付は8月末までです！引き続きお待ちしております！</p> <p>http://www.fsc.go.jp/kids-box/kodomo_kasumigaseki_day_2022.html</p>
5	<p>全国的に #大雨 の被害が出ています。#災害 の時には避難や水・食料の確保と併せて #食中毒 への注意も必要です。基本は「つけない」「ふやさない」「やっ</p>

	つける」の3つ。ウエットティッシュ、ラップ、カセットコンロなど災害への備えを確実に！
8	<p>#キュウリ や #ズッキーニ などのウリ科の野菜に強い #苦み を感じたら食べないで！ウリ科の野菜に普段より苦みを強く感じた場合、 #ククルビタシン 類という毒により下痢や嘔吐を起こすことも。強い苦みがあったら食べるのをやめ、症状があったら医師に相談しましょう。</p> <p>https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12757665867.html</p>
10	<p>食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開しています。第5回は2014年9月の講義。石井克枝委員（当時）が「つけない」「ふやさない」「やっつける」の科学的背景と家庭での実践、特に食品の保存について解説しています。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=4pbal_o_6uk</p>
15	<p>暑い時に増殖しやすい #黄色ブドウ球菌 による #食中毒 に注意！この食中毒は、食べるときに加熱しても防げません。手を清潔に、 #おにぎり はラップで包むかビニール手袋を。作った料理はすぐに食べ、保存するなら10℃以下で。屋外ではクーラーバッグに入れましょう！</p> <p>https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12758902327.html</p>
25	<p>#夏休み もあとわずか。#自由研究 まだ終わってな～いという皆さんのために、#こども霞が関見学デー 特設ページの公開を少しだけ延長します！9/4(金)まで見られますので、自由研究のテーマとプレゼントをゲットしちゃいましょう！</p> <p>https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12760678982.html</p>
	<p>食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開しています。第6回は2014年10月の講義。佐藤洋委員（当時）が、コーヒーを題材に疫学について解説します。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=0EqZeY7IH78</p>
26	<p>#食中毒 を予防し、食品を安全で美味しく食べるため、生活必需品の #冷蔵庫 。でも意外と知らないかもしれない冷蔵庫の正しい使い方。この食品はどこに入れたらいいの？ 安全に食品を保存するための注意点は？</p> <p>詳しくは→http://www.fsc.go.jp/kids-box/</p>
29	<p>農林水産省の記事をリツイートします。</p> <p>楽しく健康な食生活のために～消費者のみなさまに「食」に関する知っ得情報をお届けします。～記事を更新しました！</p>
30	<p>#妊婦さん とその周りの方に向け、#妊娠 中の食生活で注意する点をまとめた資料を改訂しました。避けるべきものは3つ。後は食材の加熱・手洗いをして、同じものを食べ続けたりせず、色々なものをバランスよく適量食べていれば食事による大きな問題は起こりません。</p> <p>詳しくは→http://www.fsc.go.jp/okaasan.html</p>

■ 9月：7記事

閲覧数93,062件/月、フォロワー1,448人

投稿日	記事内容
1	<p>食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開しています。第7回は2014年11月の講義。三森国敏委員(当時)が畜産動物に用いた医薬品や、使用された薬剤に耐性を持つ病原菌が肉などの畜産製品を通じて人の健康に影響を及ぼさないようにするためのリスク評価を解説します。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=6RmfdMOLZzw</p>
2	<p>#こども霞が関見学デー 特設ページ「ようこそ！食品安全委員会へ」が見られるのは、9/4(日)まで！アンケートとクイズコーナーの回答（#プレゼントあり）もその日まで受け付けます。お早めに！</p>
8	<p>食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開しています。第8回は2013年9月の講義。山添康委員（当時）が、脂肪はどのような仕組みで身につくのか、生活習慣病との関わりも含め、トランス脂肪酸を題材に解説します。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=7e0713z4Mmc</p>
14	<p>#ドクツルタケ、#ツキヨタケ、#クサウラベニタケ…キノコが美味しい季節でも、キノコの#毒には要注意！重症は死にいたる場合も！「食べられるキノコ」と確実に判断できなければ、「採らない」「食べない」「売らない」「人にあげない」ようにしましょう！</p> <p>https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12764227077.html</p>
15	<p>食品安全委員会は過去の講義動画をリバイバル公開してきました。最終回の第9回は2014年12月の講義。山添康委員（当時）が体の代謝機能、特に解毒について、食品添加物を例に解説しています。</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=tog6rHAN4z4</p>
16	<p>#腸管出血性大腸菌 #0157 の食中毒による死亡事故が報告されています。生とレアは違います。牛肉も必ず中心部まで火を通して食べてください。</p> <p>https://ameblo.jp/cao-fscj-blog/entry-12764617098.html</p>
29	<p>お菓子やジュースなどの原材料名表示で見かける聞きなれないカタカナのあれ、実は #食品添加物 というのを知っていますか？食品添加物はどんな目的で使う？好きなだけ使って良い？ #安全 の確保は？</p> <p>詳しくは→http://www.fsc.go.jp/kids-box/</p>

(3) YouTube

食品の安全性に関する科学的な知識の普及啓発や、その他食品の安全に関する情報についての動画による情報発信

(7～9月に公開した動画の合計視聴回数 2,817回、チャンネル登録者数 900人)

公開月日	記事内容	視聴回数 (公開日～9/30)
7/14	食べ物の基礎知識 ～食品の安全と消費者の信頼をつなぐもの～	475
7/21	食品のリスクマネジメント@キッチン	305
7/28	相手を知ってやっつけよう ～主な細菌性食中毒の特徴と対策～	157
7/29	こども霞が関見学デー2022 山本委員長ごあいさつ	135
8/4	誰もが食べている化学物質 ～食品の加工貯蔵中の化学変化の安全性～	571
8/10	冷蔵庫に入れれば大丈夫？ ～食品の保存を理解する～	304
8/25	カフェインは危ない？～コーヒーを科学する～	331
9/1	動物の健康はヒトの健康～動物用医薬品を知る～	124
9/8	食べたものはどこに行く？過剰摂取のリスク ～脂質の例～	220
9/15	私達のからだの代謝（体内分解）機能 ～添加物を例に～	195

食品健康影響評価の審議状況

2022/9/30

区分	諮問案件						自ら評価
	要請件数 注1、2)	うち 令和4年度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和4年 度分	評価終了 注5)
添加物	308	6	7	1	300	2	
栄養成分添加物	2				2	1	
香料	7				7		
農薬	1348	22	148	1	1199	23	
うちポジティブリスト関係	543		130		413	2	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		16		43	1	
動物用医薬品	652	11	17		635	11	
うちポジティブリスト関係	137		13		124	4	
器具・容器包装	21		1		20		
汚染物質等	68		1		67		4
うち清涼飲料水	52				52		
微生物・ウイルス	21				21		2
プリオン	67		8		59		14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	369	2	16	1	352	7	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	316	4	29	2	285	8	
うちポジティブリスト関係	142		23	2	117	5	
薬剤耐性菌	70	1	9		61		2
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルギーを含む食品に関するWG							1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		2
合計	3355	46	236	5	3114	52	33

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2022年9月30日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（水生動物に使用するスルフォアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。）	3
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）〔耐〕、アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）〔耐〕	2
2005/2/14	厚	農薬 ジコホール	1
2005/8/5	農	動物用医薬品 薬剤耐性菌 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラール液）〔肥〕、動物用医薬品 ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミスンS（静注用））〔耐〕	2
2005/9/13	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール〔肥〕	1
2006/7/18	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール☆〔肥〕	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン☆、スルフィソゾール☆	3
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品 スルファジメトキシ☆〔肥〕、スルファモメトキシ☆〔肥〕	2
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン<一部☆>	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、ブロディファコウム	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロ、ピリデート、フッ化スルフリル	4
2008/6/3	厚	動物用医薬品 トビシリン〔肥〕	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2008/9/5	厚	汚染物質 カドミウム	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆、フェナミホス☆	2
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆〔肥〕、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆〔肥〕、β-カロテン☆〔肥〕、酒石酸☆〔肥〕、トウガラシ色素☆〔肥〕、乳酸☆<農薬用途もあり>〔肥〕、マリーゴールド色素☆〔肥〕、メナジオン☆〔肥〕、レチノール☆〔肥〕	10
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚・農	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆〈一部〈飼〉〉	3
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルファン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、プロモキシニル☆	3
2011/4/19	厚	添加物 カルミン	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTG☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、2,4-DB☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	11
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）対策の見直し（オランダ）	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン☆〈飼〉、ホレート☆〈飼〉、シハロトリン☆〈飼〉、ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	4
2012/1/23	厚	動物用医薬品 スルファジミジン☆[肥]	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/3/26	厚	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル☆〈飼〉、クロルフェンビンホス☆〈飼〉、シマジン☆〈飼〉、パラチオン☆〈飼〉	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	12
2013/3/12	農	農薬 ピリミホスメチル☆〈飼〉	1
2013/4/2	厚	プリオン プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC☆〈飼〉、ジメトエート☆〈飼〉、メチダチオン☆〈飼〉	3
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、フルキンコナゾール☆	6
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニュロン☆	8
2013/8/20	厚	農薬及び動物用医薬品 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/1/8	厚	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（食品）■	1
2017/12/19	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（飼料）■	1
2018/7/4	農	動物用医薬品 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス）■[耐]	1
2019/2/27	農	動物用医薬品 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）■[耐]	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■	2
2020/2/13	厚	動物用医薬品 ジニトルミド ☆[肥]	1
2020/3/17	厚	動物用医薬品 クロステボル☆、ジブチルサクシネート☆、トリブロムサラン☆、ノルジェストメット☆、ヒドロコルチゾン☆	5
2020/3/17	厚	飼料添加物 オルメトプリム☆、スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダプソン☆、エトパベート☆、スルファキノキサリン☆	7
2020/5/13	厚	プリオン 「ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓」※	1
2020/9/24	厚	Ra α3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2020/10/16	農	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（飼料）■	1
2020/10/19	厚	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品）■	1
2021/2/4	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料）■	1
2021/2/9	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）■	1
2021/5/14	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（飼料）■	1
2021/5/17	厚	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品）■	1
2021/11/5	厚	遺伝子組換え食品等 DIDK-0176株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2021/12/8	厚	農薬 1,4-ジメチルナフタレン■	1
2022/3/23	厚	農薬 ヨウ化メチル■	1
2022/3/15	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP915635）（飼料）■	1
2022/3/16	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP915635）（食品）■	1
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シペルメトリン■	1
2022/4/22	農	肥料・飼料等 塩酸L-ヒスチジン■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2022/5/20	厚	遺伝子組換え食品等 ROM株を利用して生産された α -アミラーゼ■	1
2022/6/15	農	薬剤耐性菌 アミノグリコシド系抗生物質が動物用医薬品として家畜に投与された場合に選択される薬剤耐性菌	1
2022/6/20	厚	遺伝子組換え食品等 JPBL013株を利用して生産された α -アミラーゼ■	1
2022/6/22	厚	添加物 ポリビニルアルコール■	1
2022/6/29	農	肥料・飼料等 ギ酸■	1
2022/7/13	厚	農薬 アミスルブロム■、シメコナゾール■、プロチオホス■、メタアルデヒド■	4
2022/7/13	厚	動物用医薬品 シフェノトリン■、d・d-T-シフェノトリンを有効成分とする豚舎噴霧剤（カーボジェット、ファームクリン）■	2
2022/8/23	厚	添加物 亜硫酸ナトリウム■、次亜硫酸ナトリウム■、二酸化硫黄■、ピロ亜硫酸カリウム■、ピロ亜硫酸ナトリウム■	5
2022/8/24	厚	動物用医薬品 次硝酸ビスマス■	1
2022/8/24	厚	農薬及び飼料添加物 シンナムアルデヒド（ケイ皮アルデヒド）（対象外物質）■	2
2022/8/24	厚	農薬 アメトクトラジン■、イミシアホス■、ジフェノコナゾール■、ジメトモルフ■、ビフェントリン■、メフェントリフルコナゾール■	6
2022/8/24	農	動物用医薬品 次硝酸ビスマスを有効成分とする牛の乳房注入剤（オルベシール）■	1

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2022/8/10～2022/9/8	農薬 フルミオキサジン■	1
2022/8/31～2022/9/29	遺伝子組換え食品等 CIT-No. 1株を利用して生産されたL-シトルリン■	1
2022/9/7～2022/10/6	添加物 L-システイン塩酸塩■	1
2022/9/7～2022/10/6	肥料・飼料等 アンプロリウム☆、セフロキシム☆	2

（注）

★は案件については意見募集は終了している。

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和4年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2022/4/13	厚	肥料・飼料等 ジアベリジン☆	1
2022/4/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPAN004株を利用して生産された α -アミラーゼ■、JPBL007株を利用して生産された α -アミラーゼ■	2
2022/5/10	厚	農薬 アセキノシル■、トリネキサパックエチル■、ピラジフルミド■、トリフロキシストロビン■	4
2022/5/18	厚	肥料・飼料等 クエン酸（対象外物質）☆	1
2022/5/18	厚	栄養成分添加物 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2022/5/18	厚	農薬 ピリダリル■、ホスチアゼート■	2
2022/5/26	厚	農薬 ゾキサミド■	1
2022/5/26	厚	動物用医薬品 チオプロニン☆	1
2022/5/26	農	肥料・飼料等 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）【再審査】■、エンラマイシン☆	2
2022/5/31	厚	農薬 イソピラザム■、フルジオキシニル■	2
2022/6/1	厚	動物用医薬品 スルファチアゾール■	1
2022/6/1	農	遺伝子組換え食品等 <i>Komagataella phaffii</i> BSY0007株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2022/6/8	厚	農薬 くん液蒸留酢酸（対象外物質）■	1
2022/6/16	厚	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品）■、線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料）■、JPBL012株を利用して生産されたプロテアーゼ■	3
2022/6/28	厚	農薬 イソフェタミド■、クロルフルアズロン■、パラコート☆〈飼〉	4
2022/6/30	農	動物用医薬品 オメプラゾールを有効成分とする馬の強制経口投与剤（ガストロガード）■	1
2022/7/13	厚	農薬 ビリフロキシフェン■、フルピラジフロロン■、メトキシフェノシド■	3
2022/7/20	厚	農薬 フルトラニル■	1
2022/7/19	厚	肥料・飼料等 ジクロキサシリン☆	1
2022/7/26	厚	動物用医薬品 モサプリド■	1
2022/8/2	農	動物用医薬品 豚繁殖・呼吸障害症候群生ワクチン（ユニストレインPRRS-10、同50、同501D）■、鶏大腸菌症生ワクチン（ガルエヌテクトGBL）■、鶏伝染性気管支炎生ワクチン（ガルエヌテクトS95-1B）■	3
2022/8/9	厚	添加物 硫酸銅	1
2022/8/9	厚	農薬 メトプロムロン■	1
2022/8/9	厚	農薬及び動物用医薬品 イソプロチオラン■	1
2022/8/30	農	肥料・飼料等 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2022/8/30	厚	遺伝子組換え食品等 <i>Bacillus subtilis</i> NTI05 (pHYT2Aopt) 株を利用して生産されたシクロデキストリングルカノトランスフェラーゼ■	1
2022/8/31	厚	農薬 ジェトフェンカルブ■、バリダマイシン■、ピリダクロメチル■	3
2022/9/6	厚	添加物 フィチン酸カルシウム	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和4年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	
2022/9/6	農	動物用医薬品 クエン酸モサプリドを有効成分とする牛の強制経口投与剤（牛用プロナミド散2%）■、牛ウイルス性下痢ウイルス（ <i>N^{pro}</i> 及び <i>E^{ns}</i> 遺伝子欠損1型・2型）生ワクチン（ボベラ）■	2
2022/9/20	厚	動物用医薬品 ジミナゼン☆、イソシンコメロン酸ニプロピル☆、マホブラジン☆	3
2022/9/20	厚	肥料・飼料等 ピリメタミン☆	1

（注）

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

IV その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/4/6	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/5/18	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針
2021/9/29	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）
2022/3/22	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正 食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正
2022/6/21	厚・農	食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針（改正）